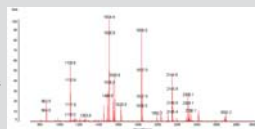


獣毛混用率の新試験方法 「化学分析法」の試験受付開始のお知らせ

この度、獣毛混用率の新しい試験方法として、ペプチド分析法の試験受付を開始いたしました。ペプチド分析法は、金沢工業大学とボーケンが共同研究してきた化学的な試験方法で、従来の顕微鏡法よりも客観的に鑑別できることが特長です。

試験方法の概要

獣毛を構成するケラチンタンパク質のアミノ酸配列が動物種ごとに異なることに着目し、ペプチド(タンパク質を断片化させたもの)を分析することによって獣毛種を判定します。MALDI-TOF質量分析計によって検出された、動物種に特異的なピークの比率から、混用率を算出することができます。



MALDI-TOF-MS

ボーケンで実施する獣毛混用率試験

| 試験方法 | 概要 | 特徴 |
|---------|----------------------------|---|
| ペプチド分析法 | ケラチンタンパク質を断片化したペプチドの分子量を識別 | <ul style="list-style-type: none"> ・定量試験が可能(カシミヤ、羊毛、ヤクが対象) ・多検体処理が可能でスピーディー ・加工に強い |
| DNA鑑別法 | DNAの塩基配列を識別 | <ul style="list-style-type: none"> ・定性試験のみ ・検出感度が高い ・加工に弱い |
| 顕微鏡法 | 繊維製品の外観形状から動物種を判定し、その本数を計測 | <ul style="list-style-type: none"> ・主観的判定 ・汎用性が高い |

ペプチド分析法のメリット

- ① データの信頼性** 化学的な方法であり、客観的で正確なデータが得られます。また、顕微鏡法では鑑別できなかったヤク混の混用率を測定することができます。
- ② 短納期** 原則7営業日です。多検体処理が可能であるため、試験が集中する時期でもスピーディーな対応が可能です。
- ③ 低価格** 高価な分析機器を使用しますが、顕微鏡法と同価格の試験手数料です。

ペプチド分析法は、毛皮の鑑別にも強い!

カシミヤ、羊毛、ヤクの獣毛混用率試験以外にも、加工に強い特長を活かし、ラクーン、タヌキ、フォックス等の毛皮の鑑別も可能となりました!



獣毛混用率試験のご依頼の際は、是非とも「**化学分析優先**」をご指定ください!
お客様の試料に最も適した試験方法を選択いたします!

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせさせていただきますよう、お願い申し上げます。

開発部
(担当:勝間田、淡谷、遠藤)

TEL : 06-6762-5819 / FAX : 06-6762-8163

ボーケンは
2013製品安全対策優良企業の
「特別賞」に選ばれました



2013
製品安全対策優良企業表彰